6・16 新潟地震を忘れるな

栄町一帯で防災訓練

「新潟地震の教訓を忘れるな！」と、新潟地震から十八年目に当たる六月十六日、栄町一帯で、地域住民や小学校の児童などが参加し、大がかりな「防災訓練」が行われ、災害に対する備えを新たにしていました。

午前十時二十分、新潟地方にかなり強い地震があり、栄町のふろ場付近から出火し、風にあおられ付近一帯に延焼中―との想定で訓練開始。

火元付近住民から一一九番通報で、はしご車、救助工作車、救急車―など十九台が出動し、配置に付きました。

地元住民も、町内ごとにまとまって近くの栄小学校のグラウンドへ避難、栄小学校の児童も、先生の指示に従ってグラウンドへ避難し訓練を見守りました。

一方、救助隊は屋上から逃げ遅れた人をロープや担架を使って救助するなど、本番さながら実施されました。

この後、地元住民や児童が実際に参加して、油を入れた容器に火を付けて消火器で消す「初期消火訓練」や、起震車「なまず号」による地震体験が行われました。

訓練に参加した**五十嵐和子**さん（53歳、浮洲町）は「地震の時は、玄関まで水が上がって大変だった。今は特別の注意をしていませんが、今日の経験を生かしたい」。また起震車に乗り地震を体験した**佐藤貴男**くん（栄小六年）は「震度6まで大丈夫、震度7になると怖かった。地震の時は、机の下にもぐるとか火を消すように言われています」と話してくれました。

実際に消火器を使って火を消す主婦ら

子宮頸ガン検診を受けましょう

―自己負担は三百円―

市では、ガンから市民の皆さんの生命を守るため、自己負担額三百円で、「子宮頸ガン検診」を実施しています。

子宮頸ガンは、女性のかかるガンの中で、胃ガンに次いで死亡率の高いものです。しかし、自覚症状のない早い時期に発見し、すばやく適切な治療を行えば、ほとんどが治癒可能と言われています。

市では、毎年この「子宮頸ガン検診」を実施していますが、受診率は低く、昭和五十六年度の受診率は、わずか一・八％でした。（検診対象者約九万九千二百人、受診者約一万一千七百人）

三十歳・四十歳ごろから、子宮頸ガンにかかる率が高くなります。自己負担額は三百円ですから、早期発見と早期治療のため、年に一回は進んで定期検診を受けましょう。

―受診要項―

対象者　市民で満三十歳以上（昭和二十八年四月一日以前に生まれた人）の女性

検診期間　七月一日～九月三十日（ただし、県立ガンセンター新潟病院は土曜日を除く）

検診機関　市内の産婦人科病院。ただし、①新潟大学附属病院では受診できません②鉄道病院は、国鉄職員とその家族のみ③ガンセンター新潟病院は、一日当たり受診者は五人で、受付時間は午前八時半～十一時④市民病院の受付時間は午前八時半～九時半

自己負担額　三百円（～検診料三千五十円のうち、市で二千七百五十円を負担します）。生活保護世帯の方は、証明書を提出すれば無料です。

申し込み　健康保険証に三百円を添えて、病・医院の窓口に申し込んで下さい。なお、ガンセンター新潟病院など、一部の病・医院では、検診終了後窓口に納入する取り扱いをしますので、忘れずに納めて下さい。

検診の結果　検診結果は、医師と相談してお聞き下さい。

精密検査および治療　精密検査や治療を必要とされた方は、医師の指示に従い、必ず検査・治療を受けて下さい。その際は保険診療となり、市の公費負担はありません。

検診を受ける前の注意　①前日は入浴し、体をきれいにしておいて下さい　②当日は簡単に着たり脱いだりできる服装でおいで下さい。

検診車による「子宮頸ガン検診」

比較的医療機関の少ない地区を対象に、検診車による巡回検診を行います。申し込みは、保健所から検診申込書が回覧されますから、町内会・自治会、婦人会を通じて申し込んで下さい。

なお、検診日程などについても、町内会・自治会、婦人会を通じてお知らせします。

問い合わせ　東・西保健所（東―☎41―四一一一、西…☎66―五一七一）へ

ご注意下さい！ アメシロの航空防除を実施

南浜地区と内野地区の海岸保安林（ニセアカシヤ林）を、アメリカシロヒトリの被害から守るため、ヘリコプターで空中から薬剤散布を行います。

人畜に及ぼす毒性は低いものですが、散布当日は散布地域に立ち入らないで下さい。

雨天や強風の場合は、翌日に順延します。

問い合わせ　アメリカシロヒトリ防除対策室（☎86―〇七五九）、公園管理事務所（☎23―二〇八一）、公園緑地課（☎28―一〇〇〇）へ

空中散布防除日程表（二回実施します）

実施場所	面積	実施日時	散布薬剤
南浜地区 海岸保安林	70 Ha	7月1日 午前4時半～7時	8月19日 午前5時～7時半	ディプテレックス4％粉剤
内野地区 海岸保安林	26 Ha	7月1日 午前7時～8時	8月19日 午前7時半～8時半	〃

母子家庭の皆さんへ 公衆浴場の無料入浴券を差し上げます

母子世帯の方に、公衆浴場の無料入浴券を差し上げます。まだ申請されていない方は、お早めに手続きをして下さい。

対象者　家庭に浴室がなく、公衆浴場を利用している母子家庭で、お母さんと中学終了前のお子さんがいる世帯

申請手続き　①申請された月分から交付しますので、お早めに手続きをして下さい②今まで入浴券を利用していた母子家庭で、引き続き該当する家庭も再申請して下さい③申請書は、市福祉課、各地区事務所、連絡所にあります④申請書には、対象世帯である旨の民生委員さんの証明が必要です。

問い合わせ　市福祉課厚生係（☎28―一〇〇〇）へ

なんでもみの広場

ここが知りたい 新潟駅南北連絡通路

匿名希望

三月七日付市報にいがたで、新潟駅南北を結ぶ西側連絡通路が新年度着工を決定し、身障者、老人のための昇り降りにも配慮がなされる、との記事が掲載されていました。

地域住民はもとより通勤、通学で、この連絡路の恩恵を受ける利用者の数は計り知れないものがあると思われます。

一時は東側一本のみなどと伝えられ、この西側連絡橋を待望していた利用者は依然として混雑し危険きわまりない水島町踏切を利用しなければならないのかと落胆していたものです。関係者のご尽力に深く敬意を表するものです。

ところで、駅南口には乗降客のための駅舎が整備されませんが、南口利用者の駅業務について、次の点が考慮されているでしょうか。

①南口からの場合、乗客が連絡通路の中程から在来線、新幹線ホームに出入りできるか②前項が可能な場合、北口まで行かずに在来線、新幹線の乗車券等を求めることができるか。

仮りにこれらが満たされないと、駅南方面からの利用客は、従来のように北口を経由する者が多くなり、南口広場の利用者も半減する恐れがでてくるのではないでしょうか。

新潟市から

新潟駅東側連絡通路の中間部から駅舎（新幹線コンコース）に入りますと、新幹線と在来線の乗車券売場および乗降口が設けられていますので、お問い合わせの件については東側連絡通路は可能です。

西側連絡通路については、国鉄とその利用管理等について細かい打ち合わせをしていませんが、市としては国鉄利用者および市民の利便を考慮し、西側連絡通路からの利用もできるよう今後積極的に協議を進めていきたいと考えています。

（担当　駅南開発事務所）

親と子の音楽教室

ネーベル室内合奏協会演奏会

～西洋音楽こわくない！～

ベートーベン、モーツアルト……むずかしい、そんなあなたに気軽に楽しんで頂く音楽会です。

月日　7月11日

会場・時間　北地区公民館（午前10時半開演、終演正午）、鳥屋野地区公民館（開演午後2時、終演午後3時半）

曲目　ポッケリーニのメヌエット、シューベルトのアヴェ・マリアなど

指揮とお話し　土田　力

入場料　無料。ただし整理券が必要です。整理券は各会場公民館で6月28日午前9時から配布します（先着各200人）。郵送希望者は、返信用封筒（あて名明記、60円切手貼付）を同封し、北地区公民館（松浜1―7―1）または鳥屋野地区公民館（新和116）へ

〈ポエジィ詩　三昧の会〉

同好の士　集まれ！

日時　7月4日、8月1日、9月5日のいずれも午前10時～正午

会場　石山地区公民館

内容　自分の好きな詩をもち寄り詩について語り合います

持参品　自分の詩、好きな詩人の詩

申し込み・問い合わせ　玉貝（☎77―0902）へ

健康づくりうす味料理講習会

日時　7月2日午前10時～午後零時半

会場　北部公民館

内容　食生活の見直しと食事づくりのポイント、調理実習、試食など※みそ汁の塩分テストを希望する方は汁のみ牛乳びん半分位（100cc）お持ち下さい。

問い合わせ　西保健所へ

いっしょに手話を習いませんか？

日時　7月12日～毎月第2・4月曜日午後7時～

会場　北地区公民館

経費　月1,000円（グループ運営費）※テキスト代自己負担

申し込み　7月5日までにはがきに住所、氏名、連絡先を記入し、北地区公民館（〒950―31、松浜1―7―1）へ

中小企業者の皆さんへ〈講演会〉

「景気の現状と今後の見通し」

日時　7月5日午後2時～（入場無料）

会場　第四銀行本店5階ホール

講師　吉野俊彦（元日本銀行理事）

問い合わせ　県商工企画課（☎23―5511）へ

妊婦相談

持参品　妊娠届出書、健康保険証、印かん、本人名儀の銀行預金通帳（国保加入者は不要）

月日	会場	時間
7/12,19,26	東保健所	午後1時～2時半
7/5	鳥屋野地区保健センター	午後1時～2時
7/20	北地区保健センター	
7/28	石山地区保健センター	
7/7,21,28	西保健所	午後1時～2時半
7/14	坂井輪地区保健センター	午後1時～2時
7/16	西地区保健センター	

ママへの準備教室

内容　赤ちゃんの衣類の選び方、おむつの作り方、おふろの入れ方（実習）

持参品　母子手帳、エプロン、手ふき

申し込み　電話で希望会場へ（東保健所会場は都合のよい日を選ぶ）

〈東保健所会場〉

日時　7月2・16日午後1時半～3時半

対象　57年11・12月分べん予定の初産婦各20人

〈石山地区保健センター会場〉

日時　7月6日午後1時半～3時半

対象　57年11・12月分べん予定の初産婦15人

幼児のむし歯予防にフッ素塗布を

対象　1歳半～4歳未満児

持参品　母子手帳、タオル、料金500円

申し込み　電話で各会場へ

月日	会場	時間	定員
7/12,19,26	東保健所	午前9時半～10時半	各40人
7/5	鳥屋野地区保健センター		
7/7	北地区保健センター		
7/28	石山地区保健センター		
7/8,15	西保健所	午前9時～10時半	各30人
7/1	西地区保健センター		
7/6	坂井輪地区保健センター		

糖尿病患者の生活と食事講習会

日時　7月2・6日午後1時半～4時、7月16日午前10時～午後零時半（3回コース）

会場　西保健所

対象　糖尿病患者または家族の方30人

内容　糖尿病とは（医師）、糖尿病食事の食品交換、正しい計量、調理実習など

持参品　糖尿病食品交換表（お持ちでない方は実費300円であっせんします）、調理材料費200円（7月16日のみ）

申し込み　電話で西保健所へ